



『愛情と熱意』

～今、我々に求められていること～

教頭 堀 真一

20世紀のアメリカの哲学者であり教育学者であったウィリアム・ウォードの至言を紹介します。「凡庸な教師は、ただ話す。良い教師は、説明する。優れた教師は、態度で示す。そして、偉大な教師は心に火をつける。」

身近にいる子どもを想像してください。子どもたちはそれぞれ、私たちと違う個性をもち、多様な感性をもっています。しかし、間違いなく言えることは私たち大人の後継者であるということです。換言すると、私たち大人の『未来』とも言えます。

また、子どもたちの心はいつも揺れ動いています。現代は予測不能な変化の激しい時代です。それだけに、子どもたちは素直な気持ちで物事にのめり込んで、周りからの影響を良くも悪くも、大いに吸収し、変化していきます。

私たちにも子どもの時がありました。好きなことに夢中になり、気付いたらすっかり時間が過ぎて暗くなり帰宅時間が遅れ、家の人に叱られたことも。素直で純粋な子どもたちは物事に夢中になり、そのことから多くの情報を得ている状態になると、時間の経過を忘れてしまうのです。それだけ、無意識のうちに、子どもたちは自分の興味や関心があることに引き込まれ、その時に変化・成長していくのです。

私たち教師や親も人間です。完全な人間はいません。教育活動において、多くの失敗があっても当然です。しかし、その時に立ち止まって『子どもたちの未来』を思い考えることが大切だと思います。

コロナ禍の今、教育が大きく見直されています。私たち大人は、社会が大きく揺れ動いている今こそ、改めて教育の原点である『愛情』と『熱意』すなわち『情熱』を常に意識する必要があります。

そして、自らの未来でもある子どもたちの心に赤々と燃える火をつけ、生き生きとたくましく育てるための方法を考え、実践する使命があります。変化なくして成長はありません。大人が自身の内面から変わり、その影響を受けて子どもが変わっていけば、私たちの社会も少しずつ変わっていくはずで

「雪かきチョボラ・雪遊びチャレンジ」における注意事項

- ・児童生徒が自主的に雪かき、雪遊びを行うことを基本とし、自由参加とする。ただし、交通量の多い場所は避けるとともに、公共の場所で活動をする場合は、保護者が場所の安全性について確認するなど、安全には十分留意して行う。
- ・雪かき、雪遊びに用いる用具は家庭で準備し、使い方については保護者の責任において指導する。
- ・車道や歩道を除雪車が作業している時は、絶対に雪かき、雪遊びをしない。
- ・公共の場所で雪かきをする場合は、雪は決められた場所に捨てる。
- ・部活動など学校の管理下で実施する場合は、日本スポーツ振興センターの災害給付金が適用されるが、家庭の管理下で実施される場合は適用されない。

《第28回交通安全・健全育成標語コンクール》

【優秀賞】

- ・さしのべた あなたの手こそが 命綱 2年7組 生徒
- ・SNS 手軽に届く あなたの声 届いてますか あなたの心 3年7組 生徒

【佳作】

- ・それはダメ みてみぬふりは 共犯だ 2年4組 生徒
- ・見直そう ひとりひとりの 行動を マスクつけて 社会貢献 3年6組 生徒

《校内いじめ防止キャンペーン》

★俳句部門

【最優秀賞】

- 1年2組 生徒 『やめようよ 無視はいじめの 第一歩』
- 2年6組 生徒 『作り笑い していることに 気づいてよ』
- 3年2組 生徒 『ひとことが くるしめること わすれるな』

【優秀賞】

- 1年1組 生徒 『自分の言葉 誰かの心 壊していない?』
- 2年6組 生徒 『「やめようよ」 その一言が うれしいな』
- 3年1組 生徒 『考えて 今言う言葉 今すぐに』

★ポスター部門

【最優秀賞】

- 1年6組 生徒
- 1年9組 生徒
- 2年4組 生徒
- 3年6組 生徒

【優秀賞】

- 1年5組 生徒
- 1年5組 生徒
- 2年4組 生徒
- 3年9組 生徒

*ポスター部門の最優秀作品



作 1年9組 生徒



作 1年6組 生徒



作 2年4組 生徒



作 3年6組 生徒

《3学期始業式》
 日時 令和4年1月14日(金)
 登校時間 8:35までに教室で着席
 持ち物 上靴、カバン、筆記道具、
 学年・教科の提出物など
 時程 ①始業式
 ②③学活 (1・2年学習コンテスト、
 3年進路学活)
 *給食はありません。
 下校時間 11:40

札幌市教育委員会では、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、冬休み期間中において、「冬季休校日」の取組を実施いたします。これに伴い本校では、年末・年始の休日と連続して、12月28日(火)～1月4日(火)までを休校日とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、冬季休校日の取組につきましては、札幌市教育委員会 教職員労務課 (211-3853) にお問い合わせください。